

かごしまデザインコンペで川辺仏壇業界が健闘

毎年度末に黎明館において開催されているかごしまデザインフェアのデザインコンペ部門において、今回川辺仏壇業界の健闘が目を引きました。

厳正な審査のもと入選38点、うち入賞6点が選定され、この中で川辺仏壇業界の若手を中心とするCAD・CG利用研究会などの応募作品から9点が入選し、うち橋口漆工芸が優秀賞を、蔵前宮殿製作所が特別賞を受賞しました。

工業技術センターでは川辺仏壇業界を支援する研究を行って参りましたが、この間幾つかの研究会が発足し新たな製品開発に果敢に取り組んでおり、今回このような形で成果の一端が現れたこと

を心強く感じます。



受賞した川辺仏壇製品

課題対応技術革新促進事業に採択

中小企業総合事業団が公募した「課題対応新技術研究調査事業」に、国分電機(株)の「電磁ノイズ対策を施した照明器具の開発に関する研究調査」が採択されました。この事業は、経済・社会ニーズに即応した技術開発課題について、国が中小企業等に対して委託する事業です。事業の目的は、産業の核となる新たな技術を生み出すとともに、技術革新を一層強力に進めることで、新規

事業・雇用の創出を促進し、活力ある我が国経済を実現することを目指しています。

国分電機(株)からの提案は、天井埋め込み型照明器具(ダウンライト)の電磁ノイズ低減化に関するもので、これまでの国分電機(株)、鹿児島大学工学部、工業技術センターの産学官連携体制による共同研究の成果をもとにしたものです。

シラス瓦の調査研究が県委託研究事業に採択

「本県に賦存する地域資源の有効活用を図る技術の開発及び本県の産業の特性又は地理的・自然的条件を活かす技術の開発に係わる基礎研究を支援し、本県の産業振興に資する新技術の開発を推進する」ことを目的として本年度新たに設立された鹿児島県新技術開発推進協議会は、平成13年度における委託調査研究の採択テーマ(重点テーマ2件、一般テーマ7件)を発表しました。

重点テーマとして(有)瀬戸口瓦工場が応募し

た「シラスコンクリート瓦の長期耐久性に関する調査研究」が採択されました。工業技術センターは、研究協力機関として、シラスコンクリート瓦の長期耐久性発現のメカニズム解明を支援します。研究成果は、来年の「研究成果報告会」で発表されます。その他の内訳は、重点テーマ：鹿大工学部1件、一般テーマ：鹿児島工業高専2件、鹿大工学部2件、鹿大理学部1件、鹿大水産学部1件、九大先端科学技術共同研究センター1件でした。